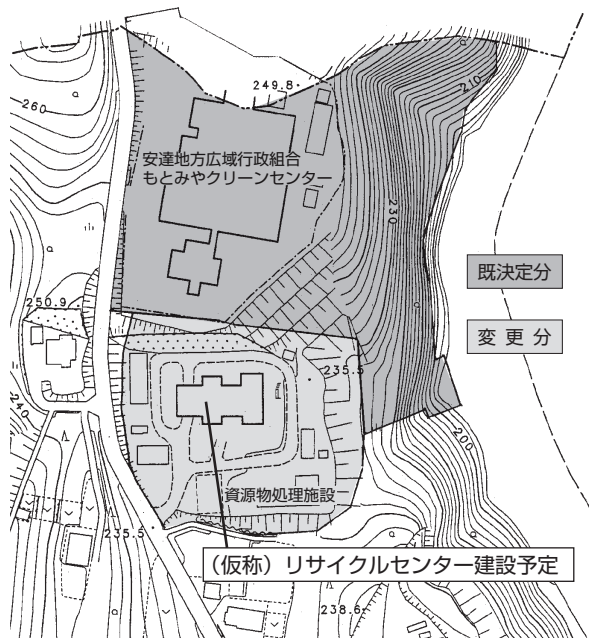


本宮都市計画ごみ処理場の 区域が変わりました

資源化施設を整備するため、旧ごみ焼却場跡地に(仮称)リサイクルセンターを建設する予定です。これに伴い、本宮都市計画ごみ処理場の面積を次のとおり変更しましたのでお知らせします。



◆問い合わせ先 建設課 都市計画係 (内線147)



メキシコや米国、カナダなどを中心に発生患者がみられる新型インフルエンザについて、日本国内でも、感染者が確認されたことに伴い、5月9日付けで「本宮市新型インフルエンザ対策本部」を設置しました。

「新型インフルエンザ対策本部」を設置しました

今後、感染の拡大防止に向けて、状況に応じて対策を講じていきますので、市民のみなさんも手洗い・うがいや、外出時のマスク着用などを励行してください。
なお、インフルエンザのような症状(発熱・せき等)がある方は、左記窓口へ、まずは、電話でご相談ください。

●発熱相談センター
(県北保健福祉事務所内)
午前8時30分～午後5時30分
午後5時30分～午前8時30分
☎090-7668-9670
☎33-1111 (内線128・133)

●本宮市役所 保健福祉課
☎33-1111 (内線128・133)

今秋2つの施設がオープン 白沢総合支所と複合施設の 工事が進んでいます

今年の秋の完成を目指して、市の2つの施設の工事が進んでいます。白沢総合支所は10月中旬、(仮称)複合施設は10月1日オープンの予定です。今回は工事の進捗状況をお知らせします。



▲(仮称)複合施設(本宮字千代田地内)

■建築主体工事 61パーセント
■電気設備工事 55パーセント
■機械設備工事 39パーセント
全体 55パーセント

(5月13日現在)



▲白沢総合支所(白岩字堤崎地内)

■建築主体工事 24パーセント
■電気設備工事 15パーセント
■機械設備工事 24パーセント
全体 22パーセント

(5月14日現在)

愛称募集

複合施設は、子どもからお年寄りまで、市民が気軽に集い、憩い、語り合う施設です

10月1日オープン予定の(仮称)複合施設は、市民の皆さんの健康増進、子育て支援、多世代交流と、3つの機能の連携を目的とする施設となります。みんなに親しまれ、愛着のもてる施設となります。よう、皆さんから「愛称」を募集します。ふるってご応募ください!!

◆応募資格
・本宮市内に住所を有している方
・市内に通勤または通学している方
◆応募期間 6月1日(月)～30日(火)
◆応募方法
郵送、応募箱、持参、電子メールのいずれかの方法で、必要事項を明記して送ってください。様式は自由です。複数の応募が可能ですが、1通につき1点です。
※応募箱および応募用紙付きの募集案内を、市役所、白沢総合支所、中央公民館、

白沢公民館、保育所、幼稚園、小中学校、老人憩いの家、高齢者ふれあいプラザ、白沢老人福祉センターに設置します。

◆必要事項
・愛称(フリガナ)、愛称の意味・説明
・郵便番号、住所、氏名(フリガナ)、年齢、性別、電話番号
・職業(勤務先)または学校名(学年)
◆賞(商品券、学生の場合は図書券)
・最優秀賞(愛称として採用) 3万円
・優秀賞(2点以内) 1万円
※同一作品の応募がある場合は抽選

◆応募先・問い合わせ先
本宮市役所 複合施設開設準備室
〒969-1192
本宮市本宮字万世212
☎33-1111 (内線137)
Eメール fukugou-i@city.motomiy.lg.jp

こんな施設です!

〈1階〉
●健康増進広場
総合健診や乳幼児健診など各種健診の会場となるほか、健康増進のための講演会の開催、健康体操等の軽運動、200人規模の会議室としても利用できます。

●子育てサロン
屋内遊び場(大型遊具などを設置)として親子が遊びを通してふれあいを深めることができます。また子どもを見守りながら、保護者同士の憩いと情報交換の場所にもなります。小さい乳幼児と安全に遊んだり、子どもの相談もできます。

●多世代交流部門
イベント交流広場(市民の交流やテレビ等によるイベント開催)、メディアコーナー(ビデオ上映、資料の作成、小会議等)、市民交流ラウンジ(市民の交流や打合せ、学習等)、健康コーナー(ヘルストロン、健康チェック)カフェコーナーなどが設置されます。

〈2階〉
調理実習室・工芸工作のできる広場・小中会議室・和室・事務室・社会福祉協議会事務室が設置されます。

◆詳しくは、募集案内をご覧ください◆

シリーズ

「未来に輝くまちづくり」(11)

本宮市長 佐藤嘉重



今月は、健康づくりの1環として、本市が新たに導入・普及を計画している「スロー筋トレ(ゆっくり体操)」についてお話しします。

「スロー筋トレ」は、年齢に関係なく、いつでもどこでも誰でもできる「腹筋・腕立て伏せ・スクワット」の3つの運動を、一日10分程度行うものです。三重県四日市市が生活習慣病の予防と改善を目的に平成16年から導入し、健康寿命の引き上げに大きな成果を上げています。四日市市の事例はNHKの番組でも紹介され、足腰の弱った高齢者が「スロー筋トレ」を実践して、北海道一周の夢を果たしたことなどが放送されました。

また、この番組を見た私は、四日市市と連絡を取り、2月下旬に訪問させていただく機会を得ました。四日市市の人口は31万3千人、本市のほぼ10倍です。昭和30年代、工業都市として飛躍的に発展する一方で、大気汚染による公害が発生しました。このような経験から、健

康に対する意識が非常に高いまちと言えます。「スロー筋トレ」は、2人の医学博士が開発した運動プログラムで、科学的根拠を基にした簡単な体操です。1カ月で効果が実感でき、継続することで「健康力」がアップします。その効果は一人あたりの医療費の面においても、顕著に現われていました。

本年度、本市におきまして、この「スロー筋トレ」を導入し、市民の皆様が体験いただければと考えています。体操教室の開催など、詳しい内容は今後お知らせいたしますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。



▲四日市市で取り組んでいる「スロー筋トレ」の様子